

機械器具 22 検眼用器具

一般医療機器 両眼視機能検査装置 JMDNコード：37071000

電動式深視力計 コーワ AS-7JS1

【形状、構造及び原理等】



1. 構成

本機器は、深視力を測定するための機器である。

本機器は

本体

コントロールボックス

リモコンスイッチ

アゴ載せ

から構成されており、各ユニットはそれぞれ単品または組合わせて販売することもある。

2. 体に接触する部分の組成

アゴ載せ アルミ合金

ストップボタン 一般電気部品

3. 電氣的定格

電源電圧 AC 100V

入力相数 单相

電源周波数 50Hz 又は 60Hz

電源入力（消費電力） 100VA

4. 機器の分類

1) 電撃に対する保護の形式による分類

（本体）：クラスⅠ機器

（リモコンスイッチ）：内部電源機器

2) 電撃に対する保護の程度による装着部の分類

B形装着部

5. 寸法及び質量

本体

580mm(W)×250mm(D)×476mm(H)／14kg

コントロールボックス

120mm(W)×155mm(D)×63mm(H)／1.3kg

リモコンスイッチ

55mm(W)×140mm(D)×39mm(H)／350g

アゴ載せ（最大時）

60mm(W)×123mm(D)×410mm(H)／500g

6. 作動原理

モーターにより駆動されたベルトは、電磁クラッチの入力軸を回し、電磁クラッチが ON の場合、その出力軸はチェーンを駆動する。チェーンは、移動桿駆動部に接続されており、移動桿は前後に移動する。被検者のストップボタンまたは検者のストップスイッチ操作により、電磁クラッチの入出力軸が切り離され、移動桿が停止する。検査は、

固定桿と移動桿の位置ずれ距離をコントロールボックスの表示、または本体の目盛で読みとる。

詳細は、「取扱説明書」をご参照ください。

【使用目的・効能又は効果】

視機能検査を行うために使用する。

【品目仕様等】

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1. 検査距離 | 被検眼より固定桿まで 2.5m |
| 2. 移動桿速度 | 25mm/sec、50mm/sec
二段切換え |
| 3. 移動桿移動距離 | 固定桿より近 110mm
固定桿より遠 100mm |
| 4. 三桿の太さ | φ3mm |
| 5. 三桿の間隔 | 30mm |

詳細は、「取扱説明書」をご参照ください。

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用準備
 - 1) 本体を適当な机等に設置し、本体横の目盛の「0」の位置より 2.5m の位置にアゴ載せを設置する。
 - 2) 被検眼の高さが、機器の前板の長方形開口部と同じになるようにアゴ載せを調整する。
2. 使用方法
 - 1) 被検者は、移動桿と固定桿が横一列に並んだと思われる時、リモコンスイッチのストップボタンを押す。
 - 2) コントロールボックスの位置表示器の数字を読む。また、本体の目盛からも読み取ることができる。
 - 3) 移動桿の移動速度は、50mm/sec と 25mm/sec が選べ、モーター速度切換えスイッチにより交互に切換えが可能である。
 - 4) モードは連続モードと間欠モードが選べ、モード切換えスイッチにより交互に切換えが可能である。間欠モードでは、コントロールボックスのストップスイッチまたはリモコンスイッチのストップボタンを押すと移動桿が停止する。再スタートの時は、スタートスイッチを押す。連続モードでは、コントロールボックスのストップスイッチまたはリモコンスイッチのストップボタンを押している間は移動桿は停止し、離すと再び前後進を始める。

詳細は、「取扱説明書」をご参照ください。

取扱説明書を必ずご参照ください

【使用上の注意】

(一般的な注意事項)

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に設置すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - 5) 電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意すること。
 - 6) 電池電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
 - 7) アースを正しく接続すること。
3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - 1) スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メーター類などの点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
 - 2) アースが完全に接続されていることを確認すること。
 - 3) すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。
 - 4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
 - 5) 患者に直接接続する外部回路を再点検すること。
 - 6) 電池電源を確認すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - 1) 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
 - 2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - 3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
 - 4) 機器に患者がふれることのないよう注意すること。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - 1) 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
 - 2) コード類のとりはずしに際してはコードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
 - 3) 付属品、コード、導子などは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
 - 4) 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 取扱説明書に書かれている注意事項を熟読し、遵守すること。

9. 使用環境

- | | |
|---------|------------------|
| 1) 周囲温度 | 10～40℃ |
| 2) 相対湿度 | 30～75% (結露しないこと) |
| 3) 気圧 | 700～1060hPa |

(当該機器固有の基本的注意事項)

検査を実施する際には、本機器が倒れたりしないように注意してください。

〔被検者が負傷するおそれがあります〕

(その他の注意事項)

この機器を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼してください。

詳細は「取扱説明書」をご参照ください。

【貯蔵・保管及び使用期間等】

1. 有効期間(耐用期間)は、正規の保守点検を行った場合に限り8年間です。
(自己認証[当社データ]による)
2. 貯蔵・保管環境

1) 周囲温度	-15～+60℃
2) 相対湿度	10～95% (結露しないこと)
3) 気圧	700～1060hPa
3. 保管場所については次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に保管すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守点検に係る事項】

(使用者による点検事項)

1. 電源ケーブル、コントロールボックス接続コードに傷、破損がないことを目視で確認する。
2. 銘板に汚れがなく表示が読めることを目視で確認する。
3. コントロールボックスの各スイッチにぐらつき等の異常がないことと、各スイッチの機能に異常がないことを確認する。
4. 深視力移動桿の動作に揺れやひっかかり等ないことを確認する。
5. リモコンスイッチを押したときに移動桿が停止することを確認する。
6. 蛍光灯が点灯することを確認する。

(保守点検に係るその他の注意事項)

1. 医療機器の使用・保守の管理責任は使用者にあります。
2. 日常点検、定期保守点検は必ず行ってください。
3. しばらく使用しなかった機器を再使用する際には、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動

することを確認してください。

4. なお、使用者自ら定期点検ができない場合は、当社サービス部門の関連会社で受託することができます。

詳細は「取扱説明書」をご参照ください。

【包装】

包装単位：1台／1梱包

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

（製造販売業者）

興和株式会社 電機光学事業部

東京都中央区日本橋本町 3-4-14

TEL(03)3279-7334

FAX(03)3279-7541

（製造業者）

興和株式会社